

まぐろから見える世界

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構専務 原田雄一郎

13

6月末に米国で開催されたIATTC(全米熱帯マグロ類委員会の)年次会合で、東太平洋のクロマグロの年次会合では、紛糾することなく漁獲枠が採択されたもようだ。メキシコの対応が変化したが、それにしても、

◆墨の対応変わり採択
◆昨年の年次会合では、日本、米国、カナ



は、日本、米国、カナダは、日本、米国、カナ

この漁獲枠は、漁業者の痛みを伴うものでは、また、漁獲のほ

◆WCPFCとの連携促進期待
◆資源管理能力向上を示す

◆心配なWCPFCの能力低下
◆心配なWCPFCの能力低下

すんなり決まった漁獲枠

東太平洋クロマグロ

IATTCにおけるクロマグロ漁獲量は、

述べるように、この漁獲枠の設定の意義は

◆全水域で保存管理体制
◆制成立

IATTCの漁獲枠設定により、WCPFC

IATTCも、数年間は、メバチ・キハ

は、IATTCの資源管理能力の向上を示すことも言えよう。特に、

(毎月1回掲載)